

## 壁掛型スピーカー

型名 **SB-W126**  
**SB-W126AT**

### 取扱設置説明書

設置、接続は、裏面をご覧ください。

—お買い上げありがとうございます—

ご使用前に、この「取扱設置説明書」をお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

\* 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記載されているか、お確かめください。

### この取扱設置説明書の見かた

- 本文中の記号の見かた  
ご注意：操作上の注意が書かれています。  
× モ：機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
- 本書の記載内容について
  - 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
  - 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは省略してあります。
  - QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

### 保証とアフターサービスについて

- 保証期間について  
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。故障その他による営業上の機会損失は補償いたしません。
- 保証期間経過後の修理について  
保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。
- サービス窓口  
・下記 URL をご覧ください。  
<http://www3.jvckenwood.com/pro/service.html>  
・業務用修理窓口 (045-939-7320)

- サービスについてのお問い合わせ先  
修理・保守・設置工事については、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

- 修理を依頼されるときは  
調子が悪いときは、この取扱設置説明書をもう一度ご覧になってお調べください。簡単な調節で直ることがあります。それでも具合が悪いときは、お買い上げ販売店またはサービス窓口にご相談ください。

品名 : 壁掛型スピーカー  
型名 : SB-W126、SB-W126AT  
お買い上げ日 :  
故障の状況 : 故障の状況をできるだけ具体的に  
ご住所 :  
お名前 :  
電話番号 :

- 商品廃棄について  
この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適正に処理してください。

**JVCケンウッド**  
**カスタマーサポートセンター**

固定電話 **0120-2727-87**

携帯電話・PHS **0570-010-114**

一部のIP電話など **045-450-8950**

FAX **045-450-2308**

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

---

ご相談窓口におけるお客様の個人情報、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

### 株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

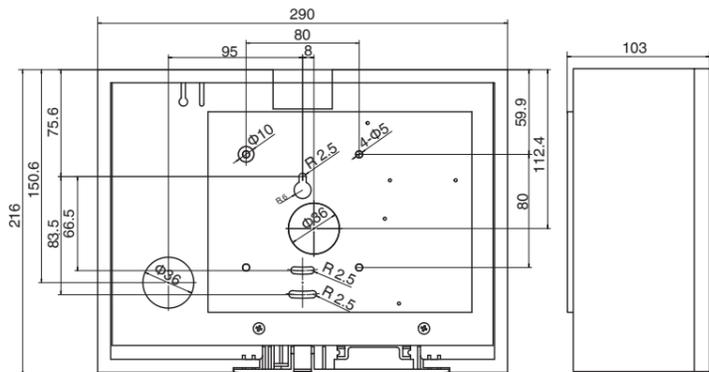
〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

© 2017 JVCKENWOOD Public & Industrial Systems Corporation

### 仕様

日本消防検定協会認定評価品：L 級
音響パワーレベル：p = 92 dB (1 W)
指向特性区分=W
スピーカーユニット：16 cm コーン型
定格入力 : 1 W / 3 W / 6 W
出力音圧レベル : 92 dB/W (1 m)
周波数特性 : 120 Hz ~ 13 kHz
入力インピーダンス：10 kΩ (1 W)、3.3 kΩ (3 W)、1.7 kΩ (6 W)
入力端子 : ワンタッチ端子 (2分岐式送り端子)
外形寸法 : 幅 290 mm x 高さ 216 mm x 奥行き 103 mm
質量 : 約 2.3 kg
仕上げ : ライトグレー
キャビネット：マンセル 5Y7.5/0.5 近似
ジャージネット：マンセル 5PB7/0.5 近似
材質 : キャビネット：木製、シート貼り
パツフル正面：ジャージネット張り
添付物 : 取扱設置説明書 (本書) x 1
ワッシャー x 1
(アダプターの裏側に添付されているポリ袋に入っています。)

### 外形寸法図 (単位：mm)



- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

### 安全上のご注意

#### 絵表示について

この取扱設置説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

**警告**

この表示 (文字含む) を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています

**注意**

この表示 (文字含む) を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています

#### 絵表示の説明

- してはいけない行為 (禁止行為) を示す記号



- 注意 (警告を含む) が必要なことを示す記号



- 必ずしてほしい行為 (強制・指示行為) を示す記号



### 警告

- 設置の際は必ず販売店にご相談ください。壁への設置工事は、専門的な技術が必要になります。正しく設置されないと、落下したりして、けがや事故の原因になります。設置工事は、必ずお買い求めいただいた販売店にご相談ください。

- スピーカーから煙が出ている、変なにおいがするなどの異常が発生したときは、そのまま使用しない。このようなときは、すぐにパワーアンプの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用を続けると、火災や感電の原因となります。煙が出ているときは、止まったのを確かめてから販売店に修理を依頼してください。お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

- 本機の質量に十分耐えられる強度を持った場所に取り付ける。SB-W126/SB-W126AT の質量は約 2.3 kg です。化粧合板、石膏ボード、プラスターボードなど、材質に強度が足りない場合や構造的に弱い部分は、補強材を当てて補強してください。補強が不十分な場合、落下など、事故の原因となります。

- 本機を分解したり、改造しない。内部には電圧の高い部品があり、火災や感電、落下事故の原因となります。内部の点検、修理は販売店に依頼してください。

- 長時間、音がひずんだ状態で使わない。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

- 梱包箱や梱包袋などは、小さなお子様の手の届くところに置かない。遊びに使ったりすると、けがや窒息の原因となることがあります。梱包箱・梱包袋は、施工後に回収してください。

- 必ず、アンプの電源を切ってから設置、接続を行う。アンプの電源を切らずに作業を行うと、感電の原因となることがあります。

- 取り付ける前に本機に異常がないか確認する。本機の樹脂部やキャビネットにひび割れや変形などの異常が発見された場合は、そのまま取り付けしないで交換してください。長期使用での破損や落下事故の原因となります。

- 本機の上に重いものを置かない。重いものや本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり落ちたりして、けがの原因となることがあります。

- 本機の上に乗らない、ぶら下らない。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

- 風呂場やシャワー室などの水のある場所で使わない。機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。また、雨天、降雪中、海岸、水辺で使用するときはご注意ください。

### 注意

- 次のような場所に設置しない。火災や感電、本機の落下の原因となることがあります。
  - ・湿気やほこりの多いところ
  - ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所
  - ・火気、熱器具の近くなど
  - ・窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たって温度が上がる場所
  - ・可燃性、引火性、揮発性ガスなどがある場所
  - ・窓ざわなど水滴の発生しやすい場所
  - ・粉じんの発生する場所
  - ・強い振動のある場所

- 取付ネジは、確実に締め付ける。締め付けが不確かだと落下する原因となります。また、1年に一度は取付ネジに緩みや破損がないか、点検を行ってください。

- 定期的に点検を行う。必ず1年に一度は、スピーカーが確実に設置されていることを確認してください。

- 1年に一度は内部の点検を販売店に依頼する。熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いによる部品劣化で、火災の原因となることがあります。

- 取扱設置説明書に記載されているすべてのことに従わない。不完全な取り付けにより、スピーカーおよび金具が落下した場合、当社は責任を負いかねますので、設置には十分な注意をお願いします。

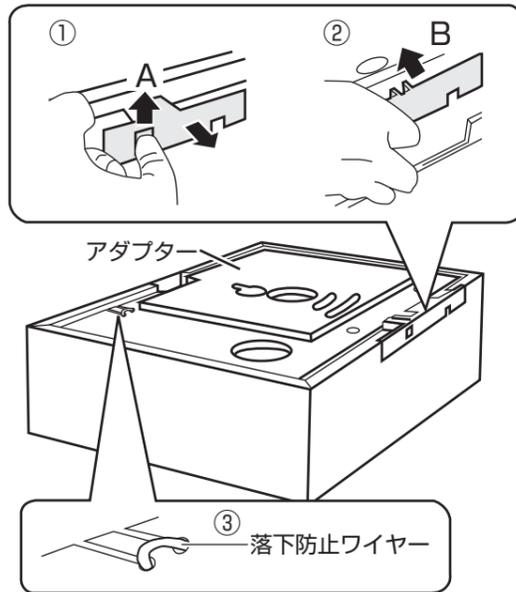
### 正しくお使いいただくためのご注意

- スピーカーを大音量で鳴らすと、壁や天井の構造によっては振動して音質を損ねる場合があります。壁や天井を補強し、振動の発生を防止してください。
- 複数のスピーカーを使用する場合、使用するすべてのスピーカーの極性を必ず合わせてください。
- 接続するスピーカーの合成インピーダンスは、使用するパワーアンプの負荷インピーダンス以上になるようにしてください。
- 本機の定格入力を超えた過大入力を入れ続けしないでください。
- キャビネットが汚れたら中性洗剤などで汚れを落とし、乾いた布でふきとります。
- シンナーやベンジン、塩素系洗剤、殺虫剤など揮発性の物をかけたり、またゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネット表面シートが変質したり、はがれるなどの原因となります。
- スピーカーの開口部分に直接物を当てないでください。異常音や故障の原因となります。
- 落下防止ワイヤーは、必ず確実に取り付けてください。取り付け後は、必ず安全を確認してください。

## 設置・接続方法

### 1. スピーカーボックスからアダプターを取りはずす

- ① アダプターのロック機構（ツメ）を矢印Aの方向にいっぱいまで持ち上げながら手前にスライドさせます。
- ② アダプターを矢印Bの方向へ持ち上げ、本体から取りはずします。
- ③ 落下防止ワイヤーをはずしてください。



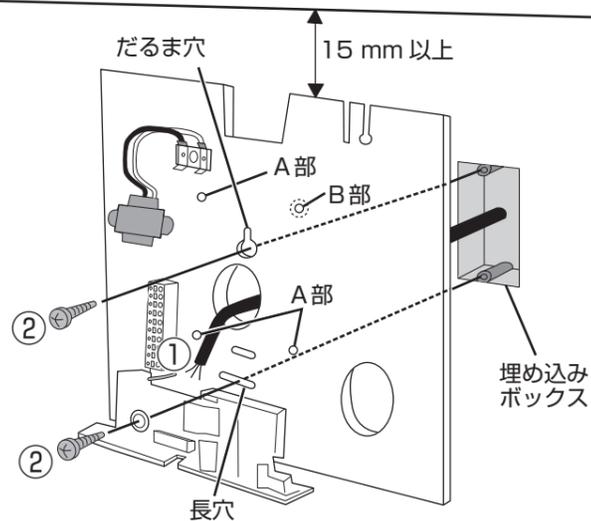
### 2. アダプターを取り付ける

設置時はアダプターの上側を 15 mm 以上空けてください。

- ① 埋め込みボックスから入力線を引き出し、アダプター中央のΦ36 mm 穴に通します。
- ② アダプターのだるま穴と長穴を使い M4 ねじ 2 本で取り付けます。  
このとき、バインドねじ（頭径Φ8.3 mm x M4）以上のねじを使用してください。また、長穴には添付のワッシャー（外径Φ14 mm）を必ず使用してください。  
・アダプターを埋め込みボックスまたは壁に確実に固定してください。

#### メモ

- ・壁に直接取り付ける場合は、Φ5 mm 穴 × 3 個（A 部）を使用してください。
- ・天面からモールを引き込むときは、使用するモールの大きさに合わせてシールラベルの点線を切り取り、引き込み口を作ってください。



### 3. 落下防止ワイヤーを取り付ける

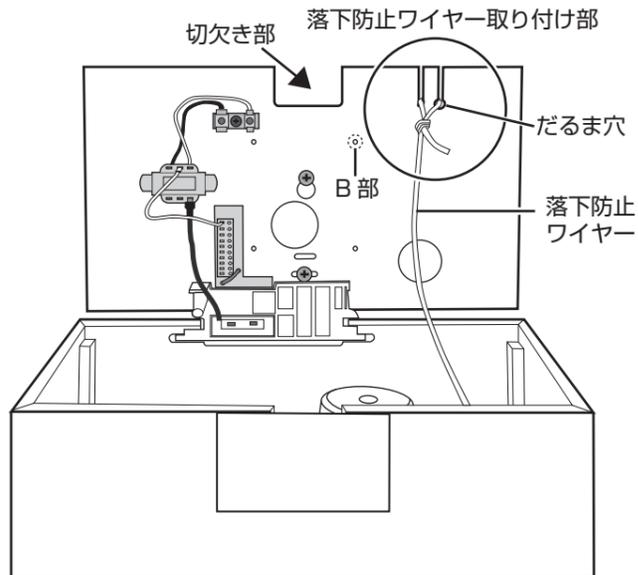
スピーカーボックスに固定されている落下防止ワイヤー先端の輪部を、下図を参照し落下防止ワイヤー取り付け部に掛けてください。

#### ご注意

落下防止ワイヤー取り付け部の下のだるま穴に入るまで確実に掛けてください。

#### メモ

別途落下防止ワイヤーを追加する場合は、B 部の穴を使ってネジとナットで固定してください。ワイヤーは必ず図の切欠き部を通してください。また、端子類に接触しないよう、たるまないようにしてください。



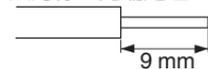
### 4. ケーブルを接続する

\*安全に作業するため、配線前に落下防止ワイヤーを取り付けてください。

- ① 入力端子台に入力線を接続します。

- ・入力線が解除ボタンを押さないように注意してください。
- ・接続用適用電線  
単銅線 φ0.6 mm ~ φ2.0 mm  
(適用電線以外は使用しないでください)
- ・接続のしかた  
入力線の先端を図の様に処理し、入力端子台の穴の奥まで確実に入力線を押し込みます。

< 入力線の先端処理 >

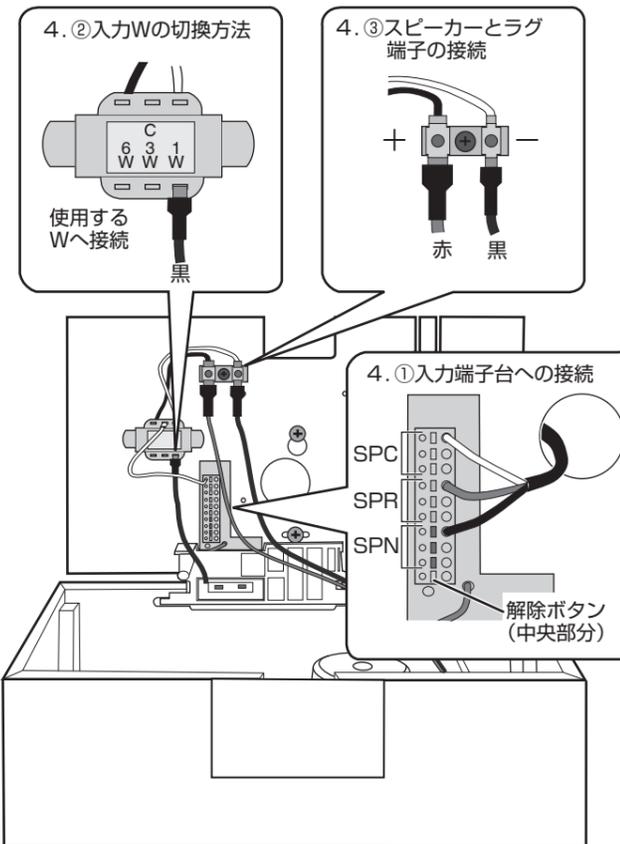


- ② 出荷時、スピーカー入力はトランスの 1 W に接続されています。  
3 W、6 W で使用する場合は、黒色ケーブルを 3 W、6 W の端子に接続してください。

#### ご注意

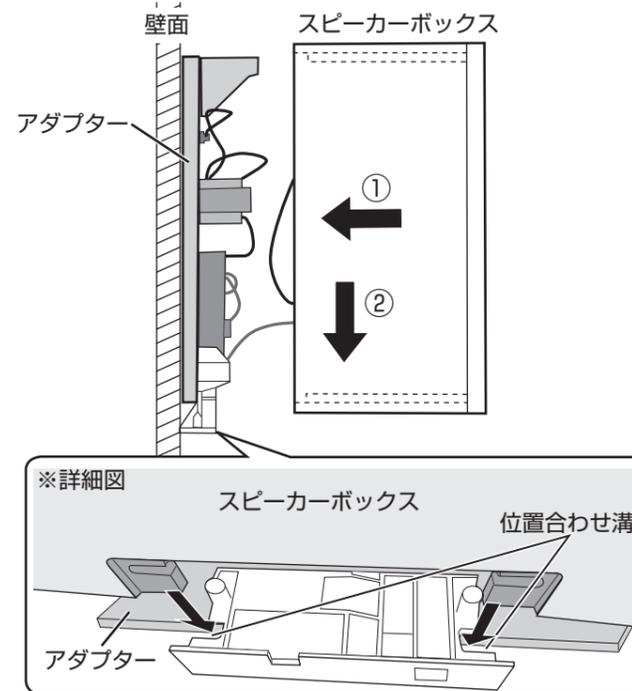
トランス端子への接続を間違えると、アンプが過負荷のために破損する場合があります。接続するスピーカーの合成インピーダンスがアンプの許容負荷インピーダンス以上になるようにしてください。

- ③ スピーカーからのケーブル（赤／黒）をラグ端子に接続します。



### 5. スピーカーボックスを取り付ける

- ① スピーカーボックスを壁に取り付けたアダプターの位置合わせ溝に合わせて壁に軽く押し付けます。  
(位置合わせ溝は、詳細図を参照してください)  
・落下防止ワイヤーおよびスピーカーケーブルを挟み込まないように注意してください。
- ② スピーカーボックスを押し付けたまま下側に「カチッ」と音がするまでスライドさせます。  
・アダプターのロック機構（ツメ）が働いてカチッと音がします。
- ③ スピーカーボックスを軽く押し上げ確実に固定されていることを確認してください。



## 配線方法

外付けアッテネータ使用時の配線図は、下記 URL または右記 QR コードの「データダウンロードコーナー」から機種名で検索し、ご覧ください。

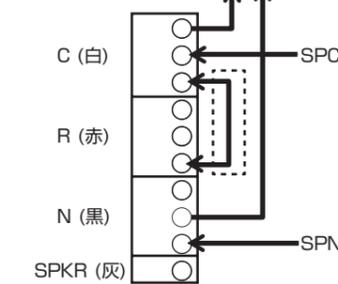
<http://www.32.jvckenwood.com/jvc/system/pro-dl/>



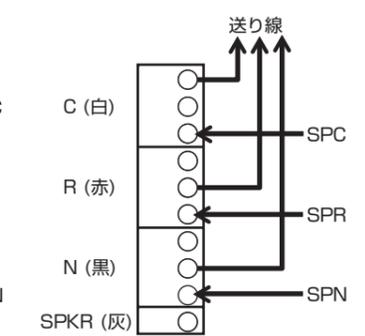
### ■ 配線のしかた

#### 2 線式配線

SB-W126AT のみ接続する。



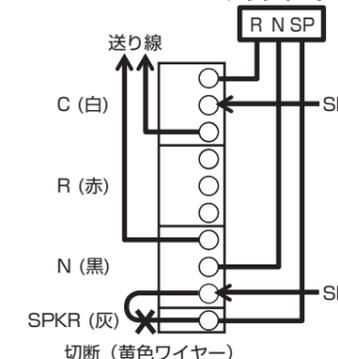
#### 3 線式配線



### ■ 外付けアッテネータ増設時の配線のしかた

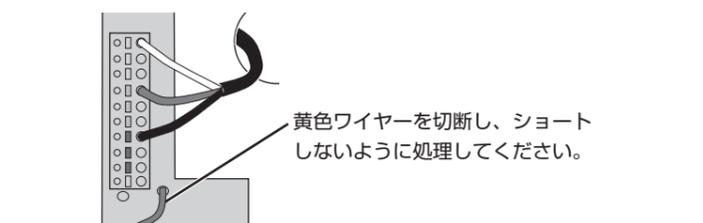
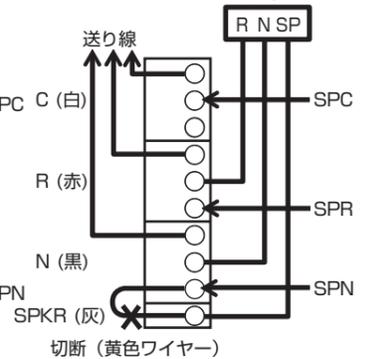
#### 2 線式配線

(SB-W126 外部アッテネータ増設の場合)  
外付けアッテネータの R 端子と端子台の C 端子を接続します。



#### 3 線式配線

(SB-W126 外部アッテネータ増設の場合)



### 音量を設定する (SB-W126AT のみ)

設置後、所要音量になるように音量切替スイッチを「大」「中」「小」いずれかのポジションに設定してください。



< 下から見た図 >

### 減衰量

定格入力	大	中	小	切
1 W	0 dB	-3 dB	-8 dB	OFF
3 W	0 dB	-6 dB	-11 dB	OFF
6 W	0 dB	-9 dB	-15 dB	OFF